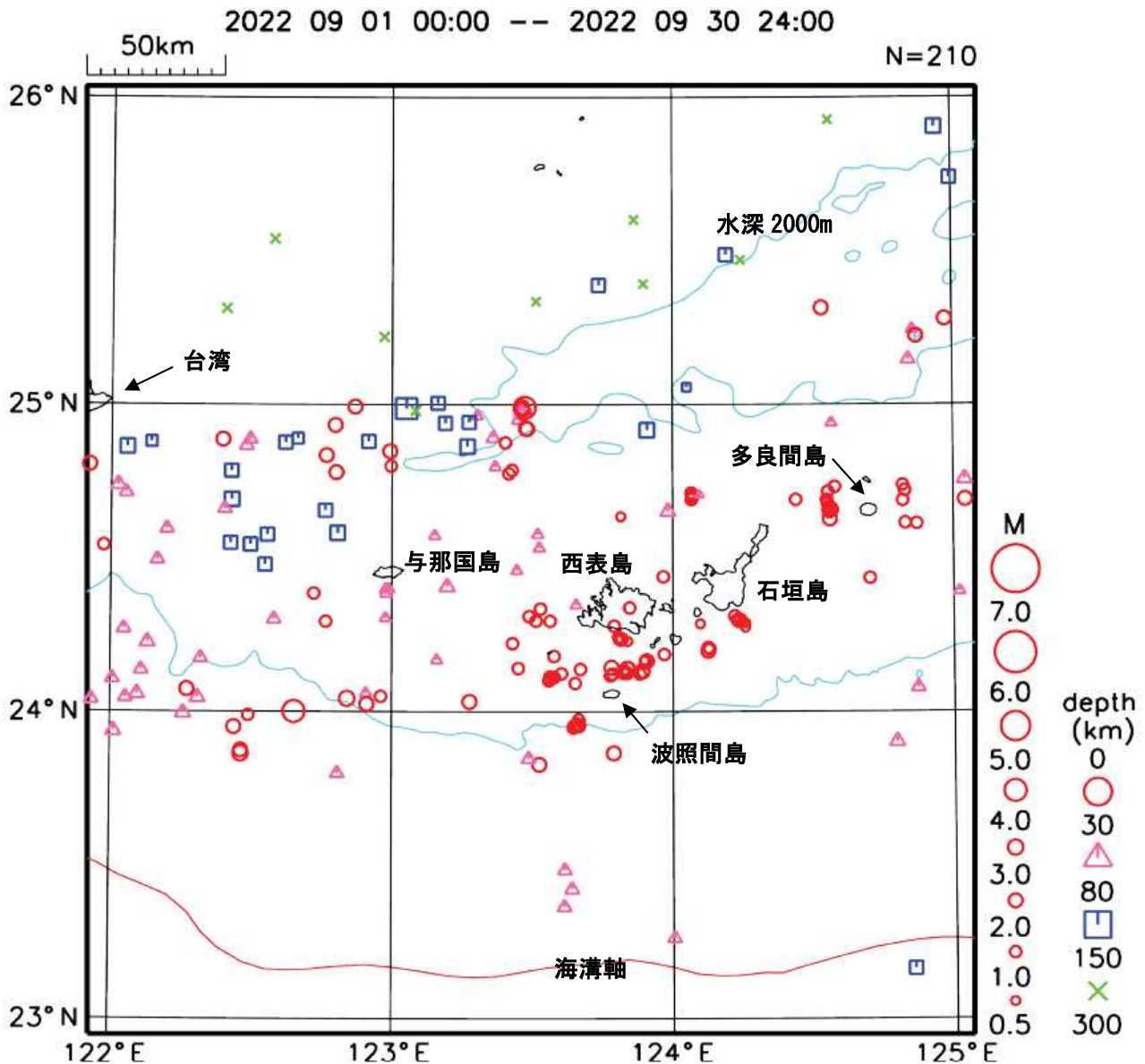


八重山地方の地震活動

令和4年(2022年)9月

石垣島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ
N : 地震の回数(マグニチュード 0.5 以上の回数です)
八重山地方で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

[概況]

今期間、震度1以上を観測した地震は1回(8月は5回)でした。

18日15時44分に台湾付近(震央分布図外、別紙参照)で発生した地震(M7.3、深さ3km)により、石垣島から与那国島にかけて震度1を観測しました。この地震に対し、気象庁は同日15時49分に宮古島・八重山地方に津波注意報を発表しました(同日17時15分に解除)。なお、この地震による津波は観測されませんでした。

八重山地方で震度1以上を観測した地震一覧（期間：9月1日～30日）

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2022年09月18日15時44分	台湾付近	23°07.2' N	121°19.1' E	3km	M7.3
沖縄県	震度 1：石垣市平久保, 石垣市新栄町*, 与那国町祖納, 与那国町久部良, 竹富町大原 竹富町黒島, 竹富町波照間				

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※八重山地方以外に震度が観測された場合は、その震度も記載します。

※ 資料中のデータについて

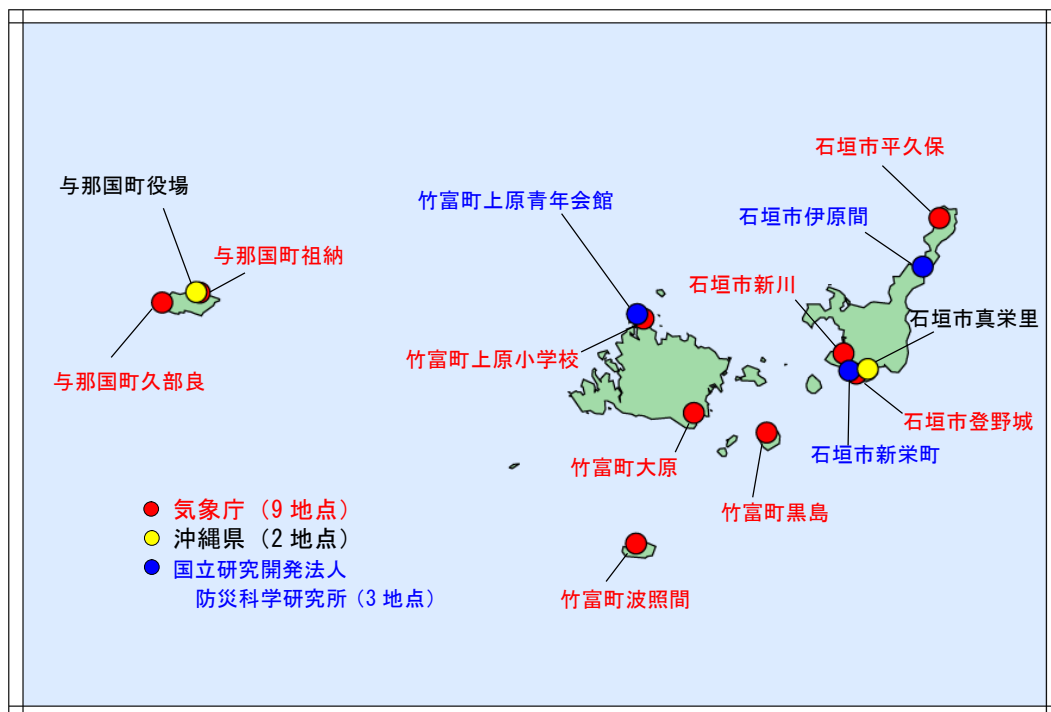
この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国立学間地震学研究会（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

八重山地方の震度観測地点



※過去の地震活動は石垣島地方気象台のホームページで閲覧できます

URL <https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/press/jishinkatsudo/jishin.html>

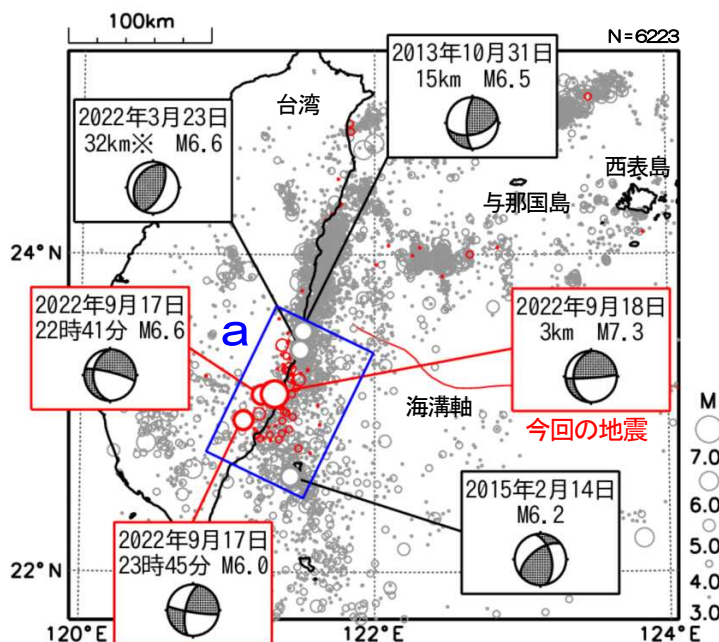
※震度1以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」をご覧ください。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

本件に関する問い合わせ先 石垣島地方気象台 0980-82-2170

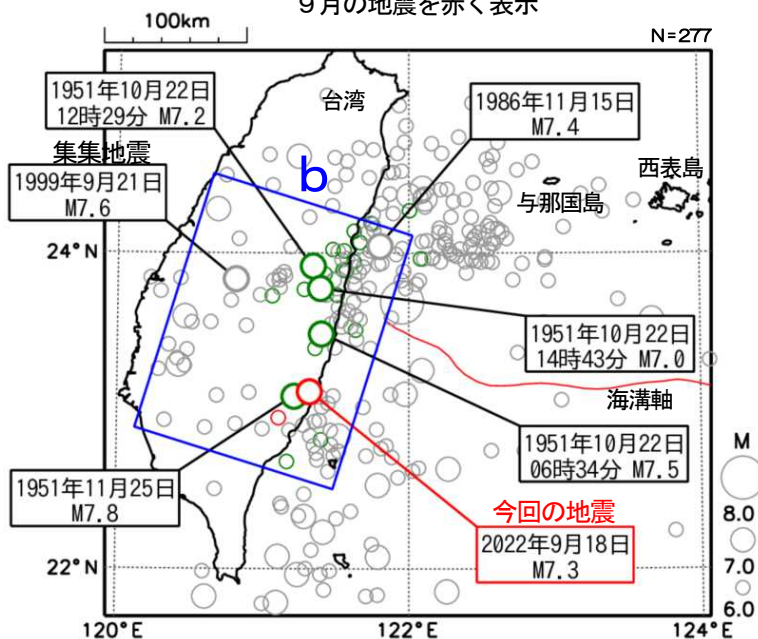
9月18日 台湾付近の地震

震央分布図
(2009年9月1日～2022年9月30日、
深さ0～50km、 $M \geq 3.0$)
2022年9月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解



※の付いた地震の深さはCMT解による。

震央分布図
(1904年1月1日～2022年9月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)
1951年10月～12月までの地震を緑で表示、2022年
9月の地震を赤く表示

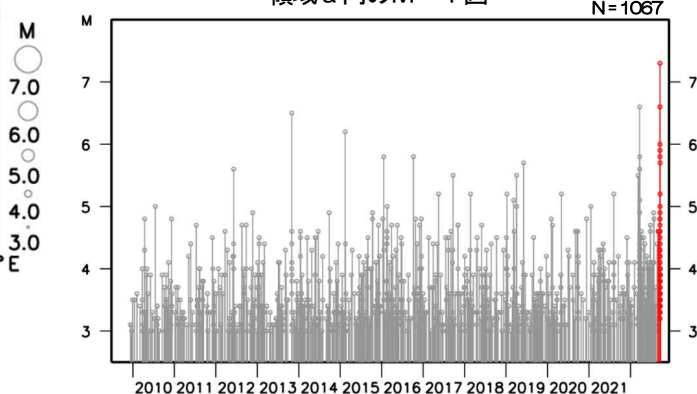


2018年までの震源要素はISC-GEM、2019年以降の地震の震源要素は気象庁による。

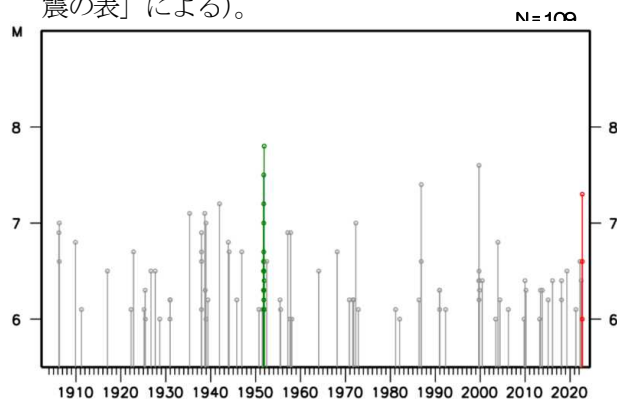
2022年9月18日15時44分に台湾付近の深さ3kmでM7.3の地震（国内で観測された最大の揺れは震度1）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、北北西-南南東方向に圧力軸を持つ型であった。気象庁はこの地震に対し、同日15時49分に宮古島・八重山地方に津波注意報を発表した（同日17時15分に解除）。なお、この地震による津波は観測されなかった。また、この地震による日本国内の被害はなかった（総務省消防庁による）。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、2022年3月23日のM6.6の地震では、日本国内で観測された最大の揺れは震度2であった。

領域a内のM-T図



1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、過去にM7.0以上の地震が時々発生している。1951年10月から12月にかけてM7.0以上の地震が4回発生した。1986年11月15日にM7.4の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）により、宮古島平良で30cmの津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人などの被害があった。また、1999年9月21日に集集地震（M7.6、日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人などの被害があった（被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による）。



領域b内のM-T図